



油流出対応および緊急時対応計画に対する 産業界の取り組み

Jim Thornborough

**International Petroleum Industry
Environmental Conservation
Association**



IPIECA

- 会員は国営および多国籍の石油・ガス会社／団体
- 国連およびその他の国際機関と連携・協力
- ロンドンに小さな事務局
- 地球規模の重要な環境問題に注目
- 活動範囲：
 - 戦略上重要な問題の評価
 - 油流出に対する準備と対応
 - 操業上の問題（大気、下流部門、健康）
 - 生物多様性
 - 世界的な気候変動
- 主な活動資源は会員で構成されるワーキンググループ



IPIECAの活動

- 石油業界の見解を伝える
- 石油・ガス業界の総意形成のための目標を設定する
- 国連における議論をモニターし、寄与する
- 石油産業幹部と外部の利害関係者との間の直接交流を進める
- 情報および良い慣習を共有する
- 情報交換と協力を促進する
- 費用効果が高く、科学に基づき、社会的経済的に受け入れられる解決策を促進する



油流出対応ワーキンググループ

- 任務：世界各地の優先順位が高い海岸地域における、海洋油流出事故に対する準備および対応体制を向上させる。
 - 政府および一般市民に対し常に信頼できかつ一貫したメッセージを伝えるため、フォーラムを行って会員間の合意をはかる。
 - 地域産業界が政府と連携して効果的なOSR計画を策定するよう働きかける



IPIECAのOSWGメンバー

- ・ 国際的石油会社



国際的技術
パートナー



OSRに対する業界の共通認識

- 事故防止を公約するが、油流出対応能力も整備する
- 関連国際条約（OPRC、CLC、FUND）の批准を推進する
- 「段階的対応」の考え方を進める
- 科学に基いたリスク分析と対応（総合環境影響評価（NEBA））を推進する
- 主要パートナーとともに「グローバル構想」に参加する：
 - 国際海事機関（IMO）
 - 国家および地域レベルの政府および産業界
 - 海運業界およびその他の産業界





IPIECA

IMO／産業界のグローバル構想



目 的

産業界の支援により、国家および地域レベルの油流出に対する準備および対応能力を向上させる。



IMO／産業界のグローバル構想



- ・ 専門技術を共有することにより、官民協力体制を確立する
- ・ 緊急対応計画策定を継続的に実行するよう、活動を開始し推進する
- ・ 既存のネットワークを駆使して、国際的な支援が得られるようにする
- ・ 中央政府と地域産業界の目標を確認する
- ・ 資金提供のためのプロジェクト案の作成を援助する

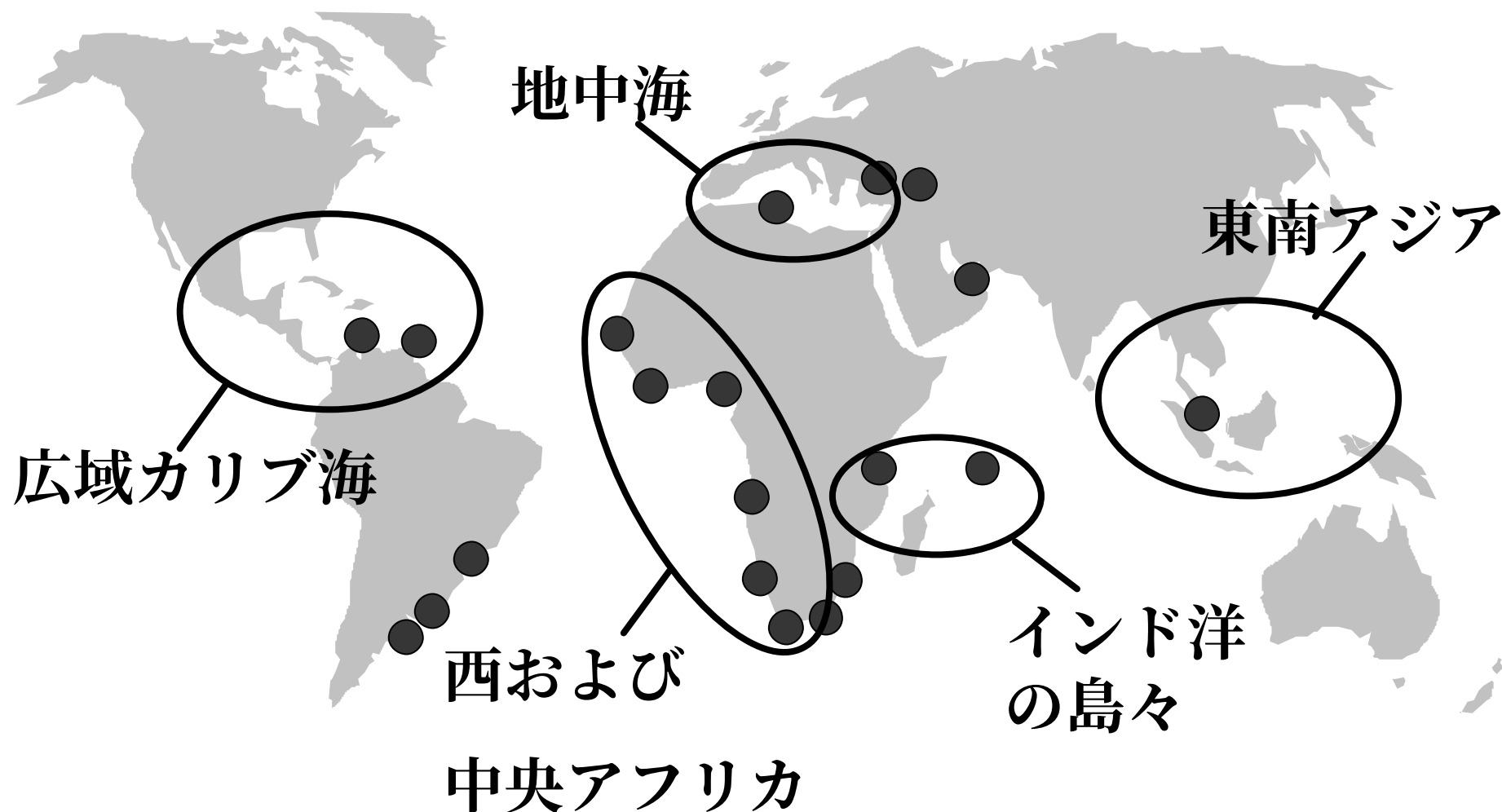


グローバル構想における活動

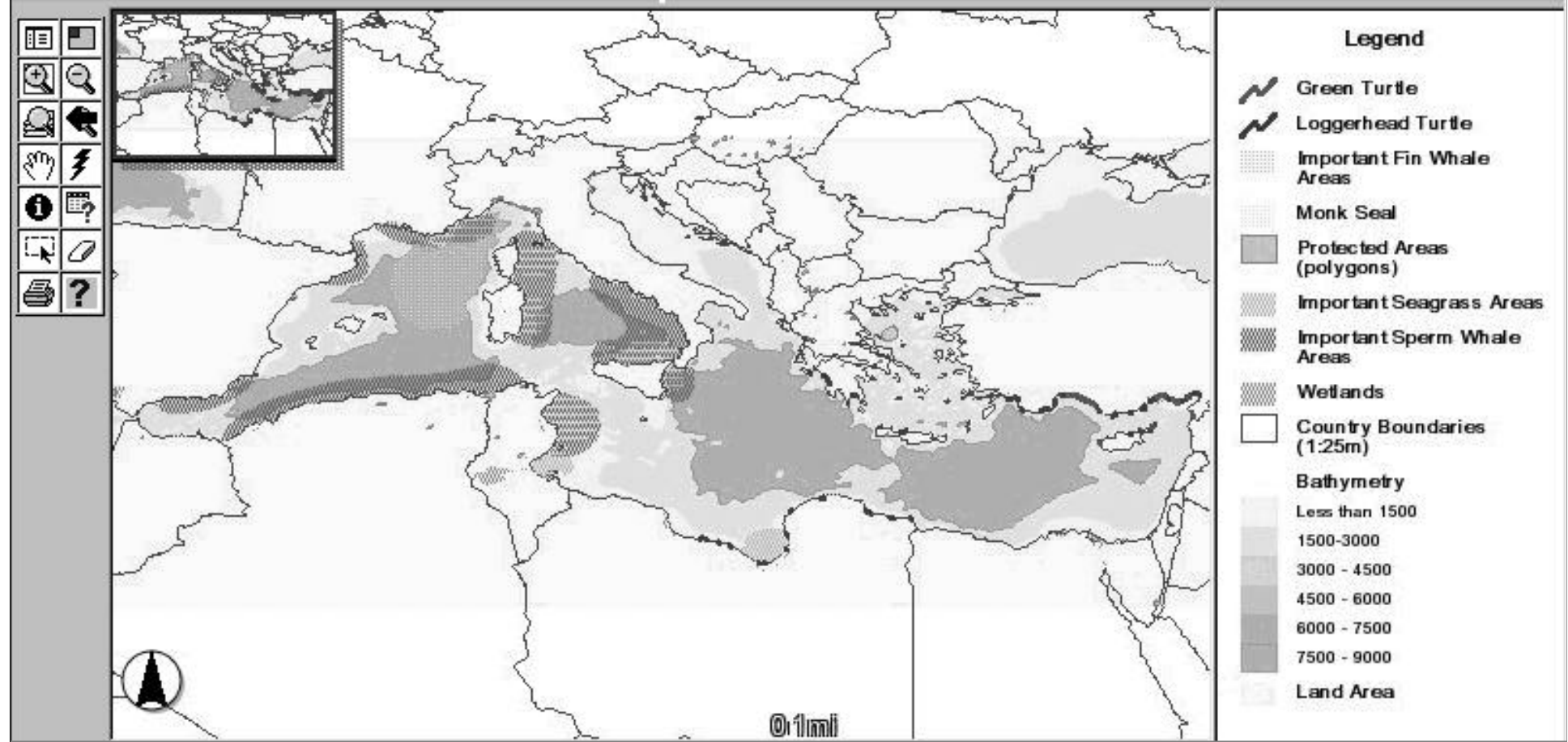


- コミュニケーション
 - 報告書シリーズ、ビデオ、説明資料、GIニュースレターによるメッセージ
- 技術的任務
 - 条約批准の推進および国家計画の承認
- センシティブティマップ作成研究会
- IMOモデル訓練コース
- 会議、研究会、セミナー
 - 推進およびプレゼンテーション

グローバル構想の対象地域



Mediterranean Interactive Map Service



<http://www.unep-wcmc.org>





南アジア



- 南アジア共同環境計画（SACEP）
- 加盟国：スリランカ、バングラデシュ、モルディヴ、
パキスタン、インド
- 1999年12月と2000年12月に地域会議を開催
- 地域計画を討議、現在最終段階
 - 2002年4月の会議で調印の予定
- IPIECAはOSRL／EARL合同で上記の両会議に参加
- 2002年、スリランカとインドでIMOのOPRC訓練コース
実施の予定



北西太平洋計画



- 北西太平洋行動計画（NOWPAP）
- NOWPAP MER / RACを韓国に設置
- IMOとUNEP（国連環境計画）の支援
- 加盟国：日本、韓国、中国、ロシア連邦
- 最近日本で行われた会議で、NOWPAP地域油流出緊急時対応計画および関連覚書案を最終決定



IPIECA OSWG



- PAJ はIPIECAの会員
- 2001年7月にシンガポールにおいてOSWG会議を開催
- 最近ではOSWGとPEMSEA（東アジア海諸国）間で協力
- Andy Crawfordを通じてPAJの資金によりIPIECAレポートの日本語版作成
- 2002年9月、オーストラリアでSpillcon会議開催の予定

IPIECAの刊行物



海上油流出緊急時対応計画
策定指針

第2版 2000年



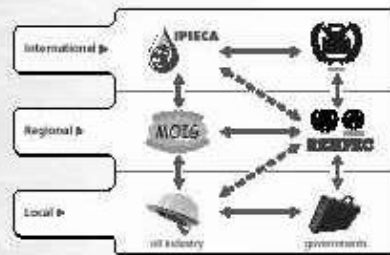
The Mediterranean Oil Industry Group

What is MOIG?

The Mediterranean Oil Industry Group (MOIG) is comprised of oil companies and associations from countries around the Mediterranean Sea.

MOIG was initiated by IPIECA following the IMO/IPIECA Oil Spill Response Seminar in Cairo in 1992, where a commitment was made to set up an industry network in the Mediterranean region. The first MOIG meeting took place in Rome in April 1995.

Officially institutionalized in Tunisia, MOIG provides a regional oil industry forum concentrating on oil spill preparedness and response for the Mediterranean Region. It provides a regional industry interface to the REMPEC (Regional Marine Pollution Emergency Response Centre for the Mediterranean Sea) (see figure below).



ニュースレター、ホームページ、説明資料を作成

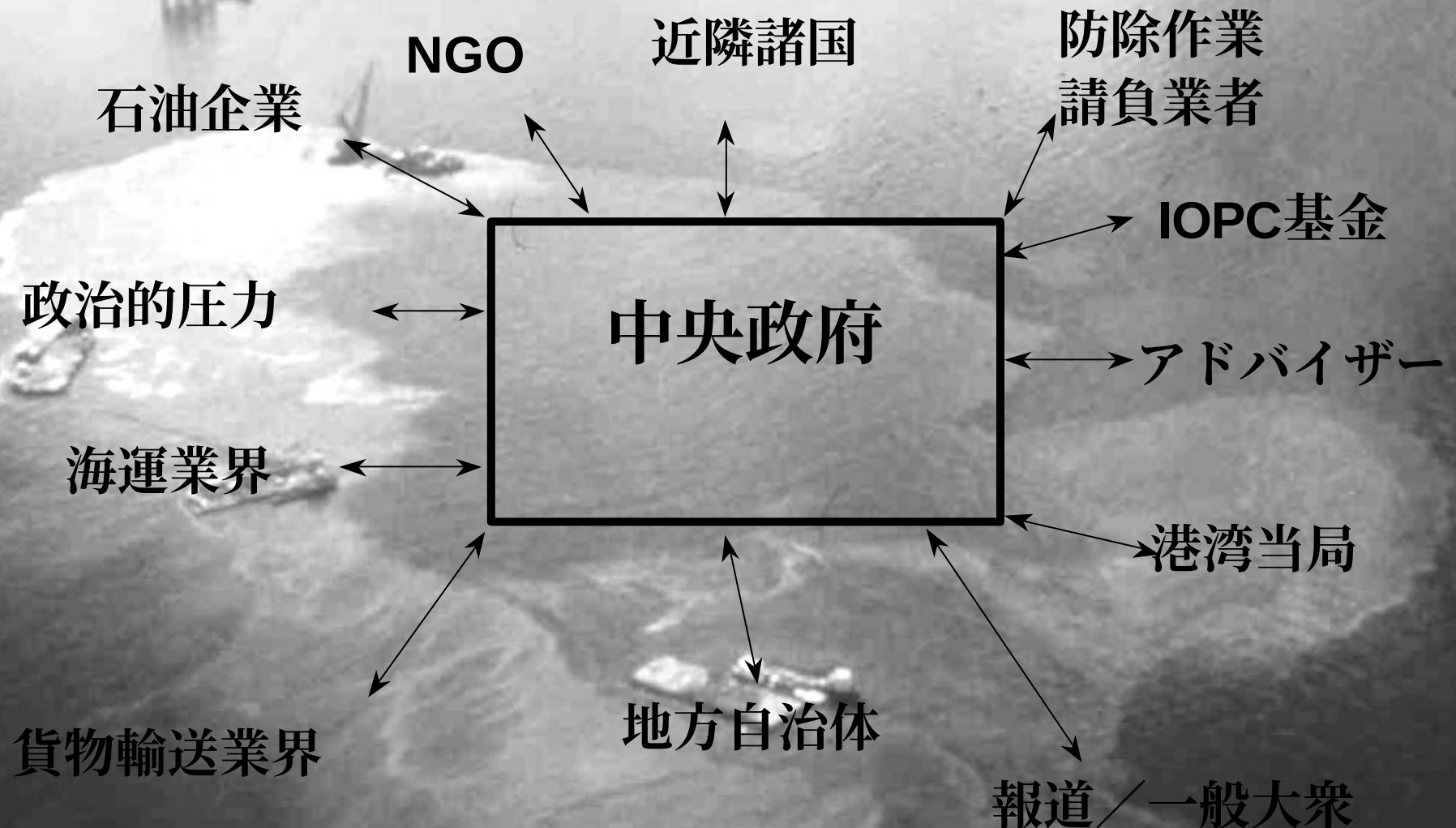
<http://www.ipieca.org/MOIG/index.html>

大規模流出事故の場合： 共同作業が必要

中央政府



大規模流出事故の場合： 共同作業が必要



結 論

- 各国政府は責任を持って広範な対応策を講じている
- 産業界は当局の枠組みを支援し、一体化すべきである
 - 国家計画
- すべてのレベルで協力および共同作業が不可欠である
 - 政府と政府
 - 政府と産業界



IPIECA

<http://www.ipieca.org>



対応法： NEBAの活用



油処理剤



防 護



海岸防除作業

監視と評価



包囲と回収



現場燃焼

